



上賀茂だより

令和6年3月11日(月)

京都市立上賀茂小学校

校長 滝山 泰教

学校教育目標「人とつながり、自らの未来を創造する子どもの育成」

～ 自ら、考え、判断し、実行する ～

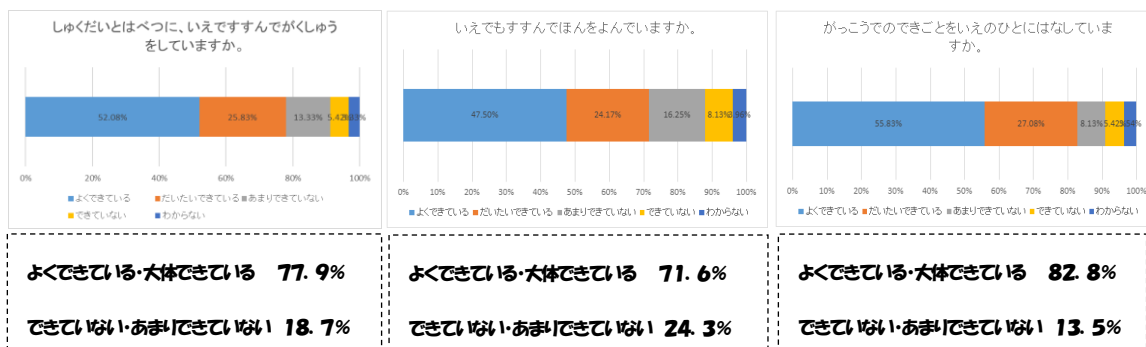
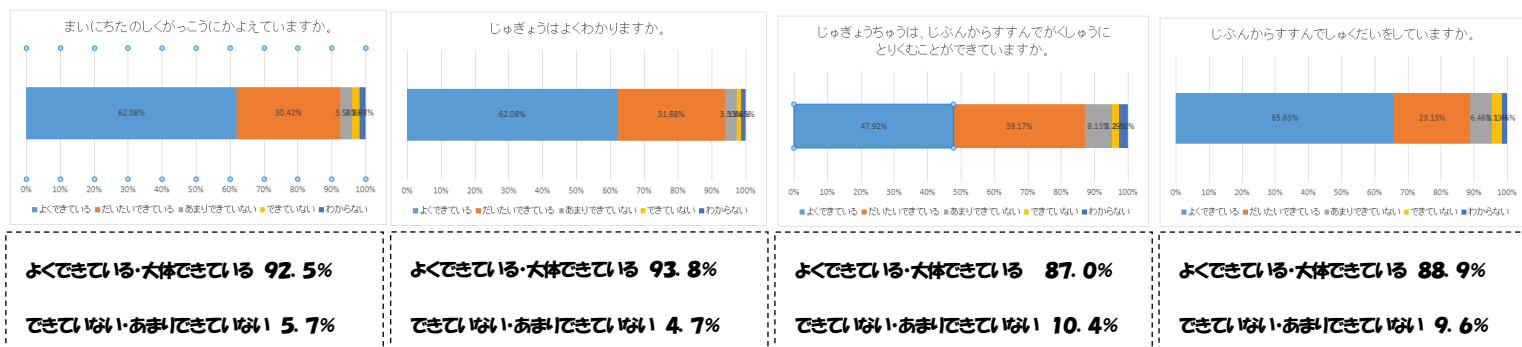
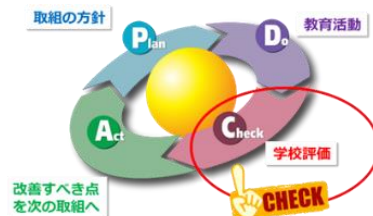


第2回 学校評価号

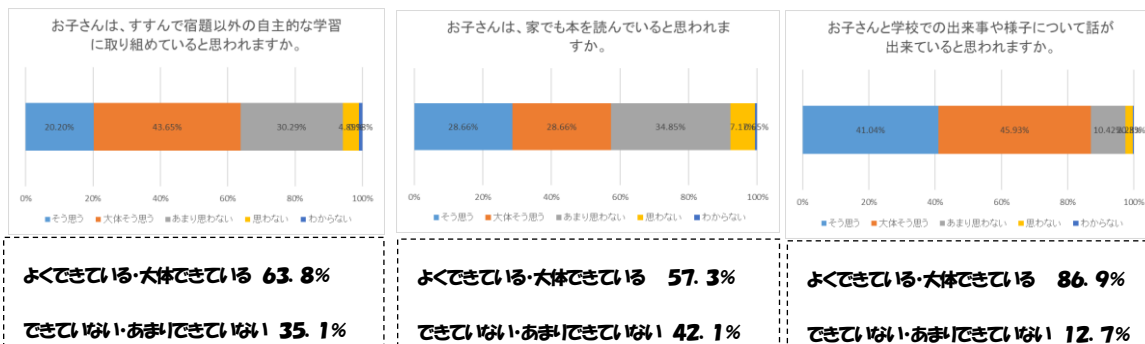
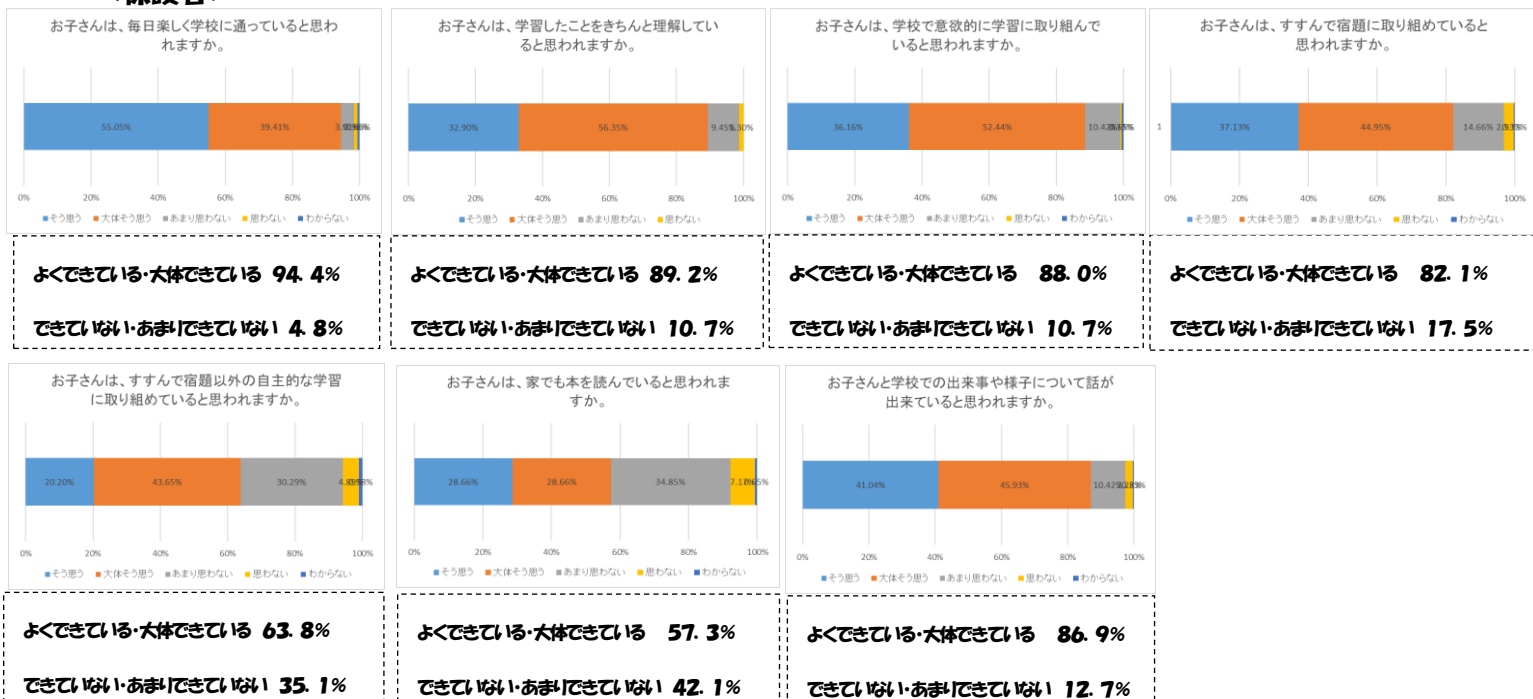
令和5年度 第2回学校評価結果について

令和5年度第2回学校評価を実施いたしました。お忙しい中、ご協力いただきありがとうございます。ごしました。いただいたご意見は今後の学校教育活動に活かしていきたいと思ひます。

確かな学力 <児童>



<保護者>



○前期との比較

できている割合とできていない割合は児童も保護者も全体的に前期と似た傾向にあり、大きな変化はありませんでした。児童において、「しゅくだいとはべつに、いえですすんでがくしゅうをしていますか」という項目が、76.1%から77.9%と前期よりできている割合が増えています。

○できている割合が高い項目

「授業はよくわかりますか」という項目では、できている割合が高く、児童においては93%以上、保護者においては89%に達しています。

○できている割合が低い項目

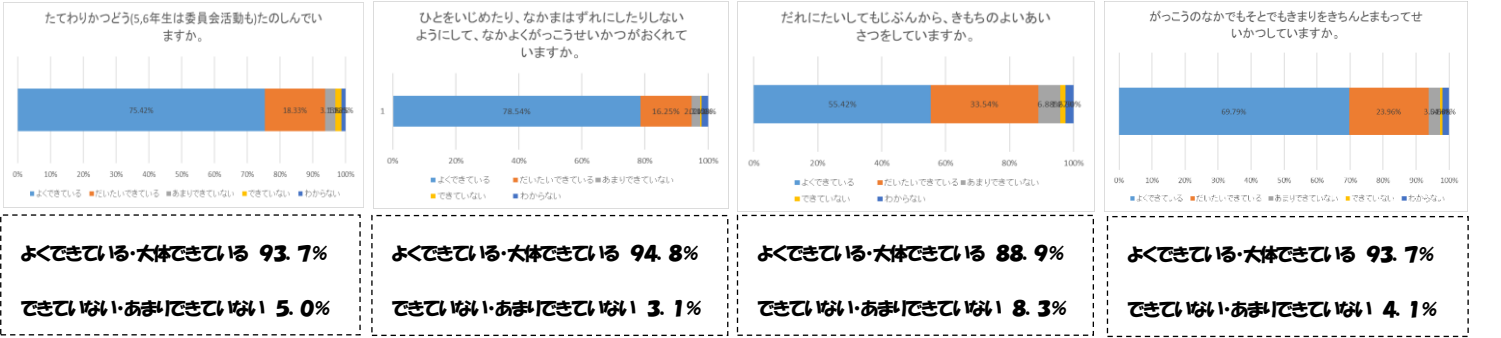
「家でも進んで本を読んでいますか」の項目は、他の項目に比べてできている割合が低く、児童においては、75%を満たしていませんでした。

保護者においては、できている割合が60%を切りました。児童以上に保護者の方はできていないと感じておられることがわかります。

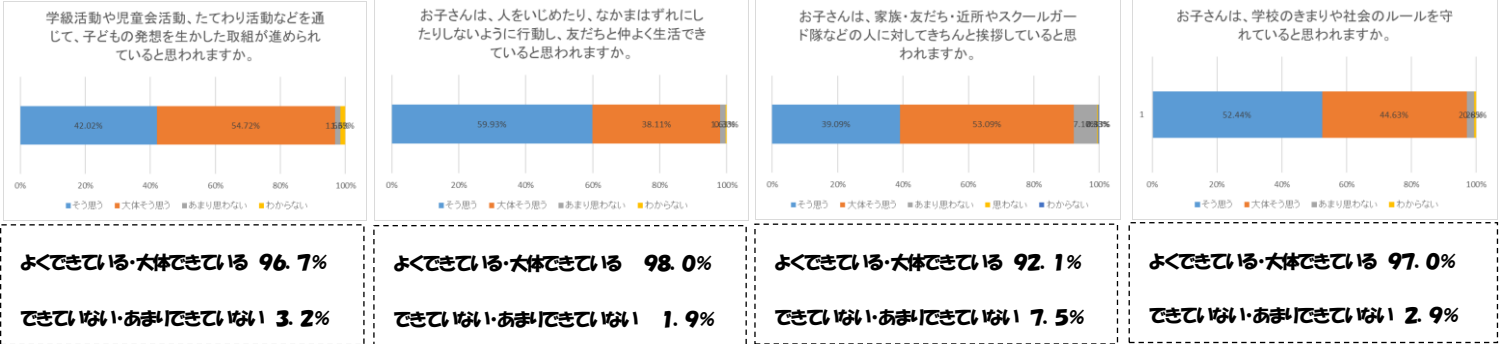
この項目は与えられた課題とは別に自主的に学習する姿勢を身につけることにつながる項目です。今回は、長寿命化工事の影響で、図書館の利用ができなかったことも影響していると思われます。

自分の課題を見つけたり、長所を知ってもっと伸ばしたいところを見つけたりすることは大切です。そこから、自分が必要だと思う学習やもっとやってみたい学習を見つけたり取捨選択したりして自主的に取り組んでいける力を引き続き育てていきたいと思います。

豊かな心 <児童>



<保護者>



○前期との比較

児童においては、できている割合とできていない割合が全体的に前期と似た傾向にあり、大きな変化はありませんでした。保護者においては、「学級活動や児童会活動、たてわり活動などを通じて、子どもの発想を生かした取組が進め

られていると思われますか」項目において、前期より2.5%できている割合が増えています。

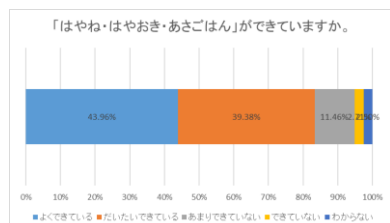
○できている割合が高い項目

どの項目もできている割合が高くなっています。

特に保護者の「お子さんは、人をいじめたり、仲間はずれにしたりしないように行動し、友だちと仲良く生活できていると思われますか。」という項目においては98%に達しています。子どもたちが友だちを大切にしていると感じながら日々を過ごしていることが、各ご家庭においても表れているのだと思います。しかし、児童の項目における「人をいじめたり、仲間はずれにしたりしないようにして、仲良く学校生活を送れていますか。」が1.6%の「できていない」「あまりできていない」と回答し、「いつも」「常に」大事にできているわけではない、と捉えることができます。

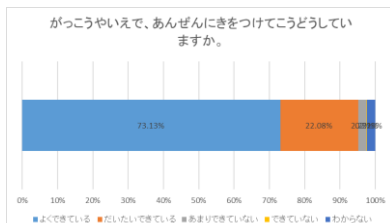
誰もが安心して楽しく学校生活を送るために、さらに、お互いの存在を大切にすることを心がけていく教育を大切にしていけます。また、どのような言動が友だちを大切に、どのような言動が友だちを大切にしていないことに繋がるのか、学校教育活動のあらゆる場面において考えられるようにしていきたいと思います。

健やかな体 <児童>



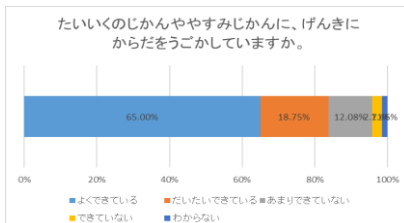
よくできている・大体できている **83.2%**

できていない・あまりできていない **14.3%**



よくできている・大体できている **95.2%**

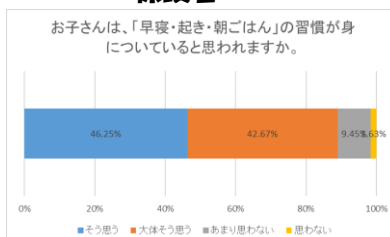
できていない・あまりできていない **3.8%**



よくできている・大体できている **83.7%**

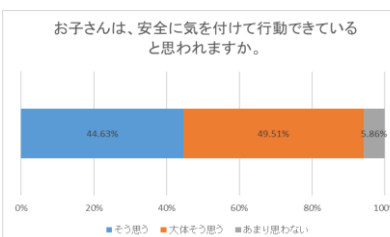
できていない・あまりできていない **14.1%**

<保護者>



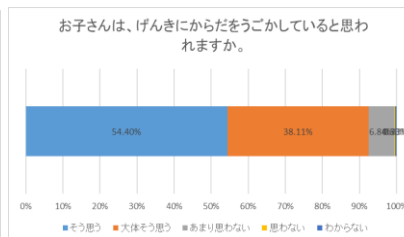
よくできている・大体できている **88.9%**

できていない・あまりできていない **11.0%**



よくできている・大体できている **94.1%**

できていない・あまりできていない **5.8%**



よくできている・大体できている **92.5%**

できていない・あまりできていない **7.1%**

○前期との比較

児童においては、全体的に前期と似た傾向にあり、大きな変化はありませんでした。

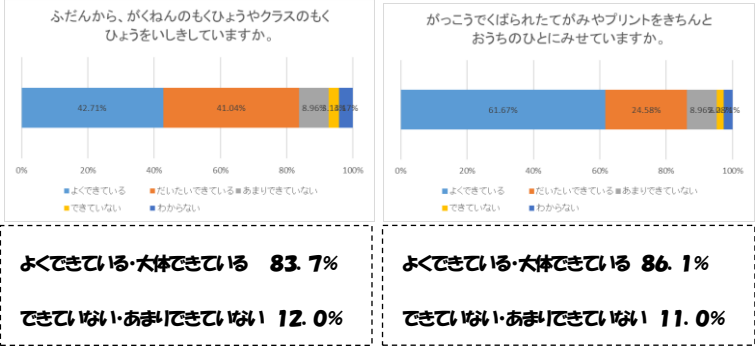
○できている割合が高い項目

「安全に気を付けて行動していますか」という項目は、児童も保護者もできている割合が90%を超えています。今後も、子どもたちと共に活動していく際に、子どもたちの自主的・主体的な活動の中で、より安全性に配慮しながら活動を推進していきたいと考えています。また、日々の危険が予測される行動については、全教職員で子どもたちに声をかけることを徹底していきます。「体育の時間や休み時間に元気に体を動かしていますか」という項目については、回答期間が寒くなってきた時期でしたが、過半数以上の児童が「よくできている」と回答しています。休み時間の様子を見ても、寒さに負けず、元気に外遊びする様子が見られました。体を十分に動かす機会を大事にしていきたいと思います。

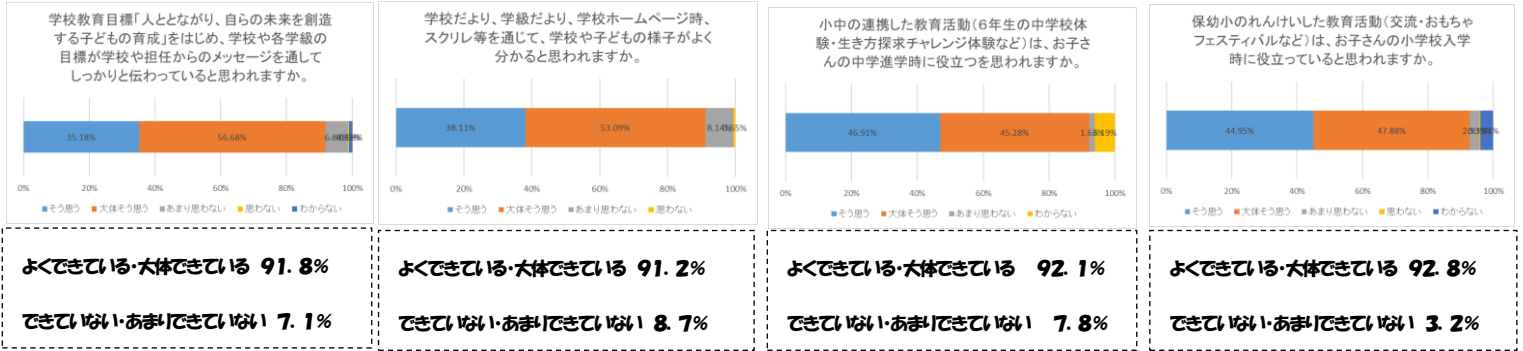
○できている割合が低い項目

低いとは言えないと思いますが、児童の「早寝・早起き・朝ごはん」については、「よくできている」割合が過半数を割っています。また、できていない割合は約15%です。

学校独自の取組 <児童>



<保護者>



○前期との比較

児童においては、できている割合とできていない割合が全体的に前期と似た傾向にあり、大きな変化はありませんでした。保護者においては、どの項目も約90%以上ができていますと回答しています。特に、保幼小の取組については、前期より4%できている割合が増えており、入学後の子どもたちの安心に繋がっているのではないかと思います。

○できている割合が高い項目

どの項目においても、できている割合は高くなっています。児童の項目において、「学校で配られた手紙やプリントをきちんとおうちの人に見せていますか」については、できている以上のポイントが5%ほどダウンしました。今年から導入したスクリレ配信を有効に活用することで、保護者の方にダイレクトで見えていただけるようにし、学校からのお知らせ等しっかりとお伝えしていくことを今後も意識していきたいと思います。それと合わせて、子どもたちには、毎日連絡袋の中身を確認し整理することも、心がけてほしいと思います。

【地域の皆様のご意見（全項目から）】

- ・保幼小の連携を密にしていくことで、子どもたちが入学時に抱える不安を少しでも軽減し、よりスムーズに学校生活を送ることができるようにすることが大切。
- ・授業の中に、地域がかかわることができる良い学校である。この取り組みを今後も続けていくことができるようにしてほしい。
- ・働き方改革という流れの中で、何ができて何ができないのか等、今後も学校との情報共有を密にしていく必要がある。